

# 5年算数「平行四辺形と三角形の面積」

第5時(9時間取り扱い)

三角形の面積を求める公式を理解することができる!

## 本時の授業の概要

前時において考えた三角形の面積の求め方をもとに、三角形の面積を求める公式を作る。三角形の面積を求めるためにはどの長さが分かるといいのかを考え、公式にまとめ、三角形の面積の求め方の理解を深める。

## 本時の目標

三角形の面積を求める公式を考えることができる。

## 活用場面

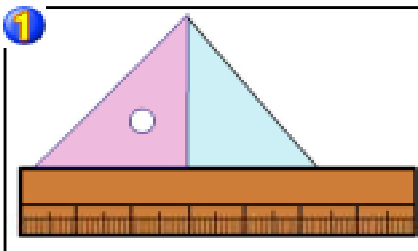
課題発見

見通し

一般化

まとめ

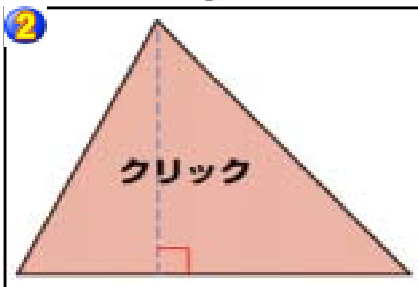
習熟



高さがどこになるのか確認する

① T : 三角形の面積を求めるときに必要な長さはどこでしたか。

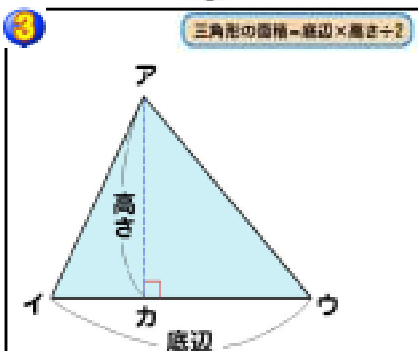
C : 底辺と、高さ  
T : 底辺はどこですか  
C : (指し示す)  
T : 高さはどこですか  
C : 頂点を通り、底辺と垂直な部分



三角形の面積の公式を確認する

③ T : 底辺と高さがわかると三角形の面積を求めることができました。どんな公式ができましたか。

C : 底辺 × 高さ ÷ 2  
T : 公式を暗記して使うだけではなく、どうしてこの公式で三角形の面積が求められるのかきちんと説明できるようにしてください。  
T : 高さがどこなのか、きちんと見つけられることも、とても大切です。



## 【ワンポイントアドバイス】

方眼がある場合は高さを捉えやすいが、方眼がなくなると高さを捉えることが難しい。底辺と高さの位置関係が垂直になっていることを確実におさえたい。

公式を覚えるだけではなく、どうして公式が使えるかを理解していることの大切さを伝えたい。

## 【サイト情報】

[http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14c/ontents/vol1/p94\\_01.html](http://kids.gakken.co.jp/campus/academy/amagasaki/h13-14c/ontents/vol1/p94_01.html)

(尼崎デジタルコンテンツ研究会)